

# 「群馬県支部会報」

発行  
令和2年7月17日  
公益社団法人 日本技術士会  
群馬支部 広報委員会

## ごあいさつ

支部長メッセージ

会報第16号の発行にあたり

公益社団法人 日本技術士会  
群馬県支部 支部長  
眞下 寛治（機械部門）



本年は新型コロナウイルスにより国民生活の巣ごもりを余儀なくされ、経済活動も停滞しました。「緊急事態宣言」解除により国民の生活も戻ってくるとともに、経済活動も再開されてきています。しかし、新型コロナウイルス感染症は、第2波、第3波の感染拡大が懸念されていますし、とくに東京都では第2波の懸念が増してきています。日本技術士会本部からも、会議開催にあたってはWEB会議システムを利用した会議運営を基本にすること、見学会については原則として当面開催を見合わせる事が求められています。このため、群馬県支部では、令和2年度の全体会合をWEB会議とし、また見学会は開催を見合わせることにしました。

7月1日に公表の2020年6月日銀短観では、大企業製造業の業況判断DI(最近)は▲34%pt(前回調査からの変化幅:▲26%pt)、大企業非製造業の業況判断DI(最近)は▲17%pt(同:▲25%pt)です。中小企業の業況判断DIは▲45%pt(同:▲30%pt)です。前回調査後、新型コロナウイルスの影響が深刻化して売上が落ち込み、業況判断を悪化させたものです。足元では国内外ともに経済活動が再開され、景気は緩やかな回復基調に転じているとみられることから、業況判断DI(先行き)は製造業・非製造業ともに改善しています。

厳しい状況がありますが、イノベーションを加速する信頼性のある知見と分析を提供するクラリベット・アナリテック社による「2020年TOP 100グローバル・イノベーター」では、日本は32社、米国39社で米国に次いで2位でした。このように日本企業は、まだまだ世界の技術革新を牽引しています。

技術士制度改革については、文部科学省「制度検討特別委員会」とその下の「継続研さん・更新検討作業部会」で検討が進められています。日本技術士会でも文部科学省の検討に資するため、「技術制度検討委員会」を中心に検討を進めています。

日本は資源がない国ですから、技術開発をしてゆかなければなりません。国も中小企業の支援に力を入れております。

技術士として益々活躍する場が増えていると思います。いっしょに頑張っていきましょう。今後の群馬県支部の活動に皆様方からのご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

■日時:令和2年7月16日(木) 午後14:30~15:30

■場所:Webによる会議

■次第: 1 支部長挨拶

2 議事

- (1)2019年度事業報告について
- (2)2019年度収支報告について
- (3)令和2年度事業計画について
- (4)令和2年度予算について

※議事内容は、特に異議なく報告されました。



事業計画

■活動方針

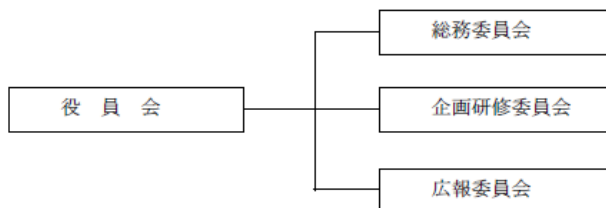
- ・地域密着型の積極的な技術士活動の促進による地域貢献
- ・社会的ニーズに応え得る技術士の研鑽活動
- ・技術士の更なる知名度向上

[全体会合(本会)、CPDセミナー:Web講演会の実施、令和2年度役員会議、支部会報の発行等]

組織

(1) 群馬県支部組織運営体制について

会員数 正会員104名 準会員39名 計143名(令和2年3月末現在)



(2) 幹事名簿並びに所属委員会名

氏名	部門	役職名・委員会名
大竹 雅久	機械	幹事、企画研修委員長
大谷 恵	機械	幹事、広報委員
鎌腰 雄一郎	機械	幹事、企画研修委員
小池 広明	建設、総合技術監理	幹事、広報委員長
佐藤 孝史	上下水道、建設、衛生工学、総合技術監理	幹事、総務委員
飛田 雅之	化学、総合技術監理	幹事、総務委員
福田 文彦	応用理学	幹事、企画研修委員
辺見 勇	機械	幹事、総務委員
眞下 寛治	機械、	支部長、総務委員長、会計
松栄 準治	機械	幹事、広報委員
松本 稔	上下水道、総合技術監理	幹事、広報委員
山本 政雄	上下水道、総合技術監理	副支部長、企画研修委員

編集後記

初めての「Web 会議」。こんなのへっちゃら！なんせ〇〇士だから…。日が迫るにつれて内心ドキドキ。そこで、子供らを家の1階や2階に配置して、(意味があるのか)声の聞こえる範囲でテスト！ご推察のとおり、若いモンは即対応。オッサンは蚊帳の外…。技術は研鑽あるのみ。(広報委員長 小池)